

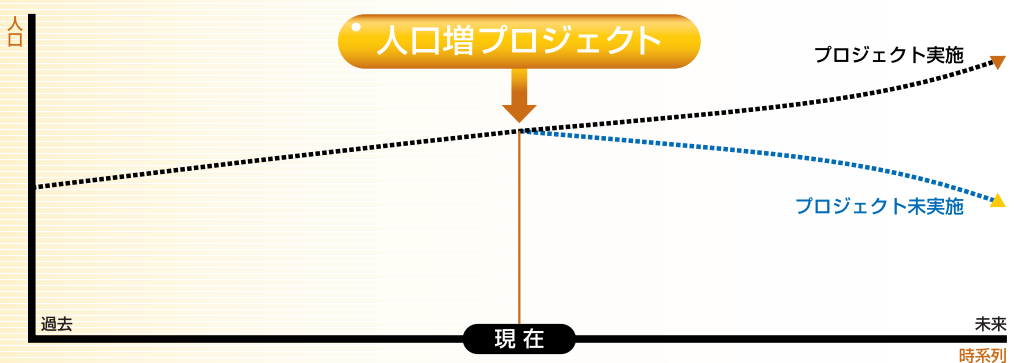
将来人口 しょうらいじんこう

コーホート法[※]による推計では、計画期間の終了時には人口が20万人を切ってしまうとの予測も出ています。

単位：人

	平成14年1月	平成19年1月	平成24年1月	平成29年1月
年少人口	30,653	27,977	25,800	23,900
生産年齢人口	144,715	139,943	133,400	122,400
老年人口	32,995	39,109	44,800	52,800
合計	208,363	207,029	204,000	199,100

日本全体では人口減少が進みますが、魅力ある地域には人が集まります。様々な施策を打ち出すことにより人口増加を図り、**23万人を目指します。**



土地利用構想 とちりようこうそう

商業施設や業務施設が集積している熊谷駅周辺を都市拠点として位置付けるとともに、各行政センター周辺及び籠原駅周辺を地域拠点として位置付けます。また、それらを核として市域を、中央エリア、東部エリア、西部エリア、南部エリア、北部エリアの五つのエリアに区分し、地域の特性を最大限発揮させながら機能分担を図り、有機的にネットワークさせることにより、本市の骨格を形成します。

総合交通体系 そうごうこうつうたいけい

道路

- 都市基盤の骨格となる広域的なアクセス性を高める広域連携道路の整備
- 市域の均衡ある発展と快適で安全な暮らしを支える地域連携道路の整備
- すべての人が安心して住めるまちづくりのための生活道路の整備
- 自転車走行環境の整備 及び ネットワーク化

公共交通

- 便利で人と環境にやさしい交通環境の整備
- ゆうゆうバス運行ルート等の見直し
- 新駅設置や各方面との交通軸の強化について検討

将来都市構造図 しょうらいとしこうぞうず

●コーホート法

コーホートとは、特定の社会的集団のことを言います。今回、推計に使ったのは、「コーホート変化率法」という推計方法であり、自然増減要因と社会増減要因を区別せず、過去における実績人口の動態から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法です。

